

12月13日朝の勉強会 テーマ「感染性腸炎」K先生

50歳代男性

主訴 腹痛 血便

【現病歴】

X日朝から腹痛があり、10回ほどトイレで下痢をした。最初の2~3回は普通の色のお便が出ていたが、段々水様便になり、アセロラジュースのような真っ赤な色になってきた。嘔吐も5~6回した。症状が続くため同日夜間救急外来を受診した。

【既往歴】 気管支炎、虫垂炎術後

【内服薬】 セレコキシブ、レバミピド、ケトプロフェンテープ

感染性腸炎の鑑別

大腸型と小腸型の鑑別

大腸型：血便、粘血便、強い腹痛、テネスマス、発熱

小腸型：水様便、嘔気が伴いやすい、腹痛は軽い、血便なし

- ・ 6週以内の抗生剤の使用：CD(Clostridioides difficile)腸炎
- ・ 免疫抑制薬、ステロイド内服：サイトメガロウイルス腸炎

take home message

事前情報に引っ張られすぎない

急性下痢のレッドフラッグを見逃さない

感染性腸炎を疑った場合に、潜伏期と感染経路となった食品を意識して問診を行う

